



伊勢 YAMATO FC

ジュニアユース / ジュニア

チームコンセプト

【三重県 NO.1】

今に気づき、出来る事を自ら考え判断し行動できる選手となる。
三重県大会で優勝し、次のステージを目指す。

【1人1人の人間的成長】

常に前を見て、常に上を見て、常に夢を追う。
自分で生きる道を自分で拓いていける人間を目指す。

- ・ 謙虚であり続けること。
- ・ 人(他者)を愛すること。
- ・ 自分の利益の為に他者を排除しない。
- ・ 力を出し合い、みんなでつくる。
- ・ 好きなものと向き合う。
- ・ 自分の信じる道を歩んで行く。 Etc...

① サッカー

サッカーは子どもを大人にし大人を紳士にする。

デットマール・クラマー(ドイツ)

サッカーって??

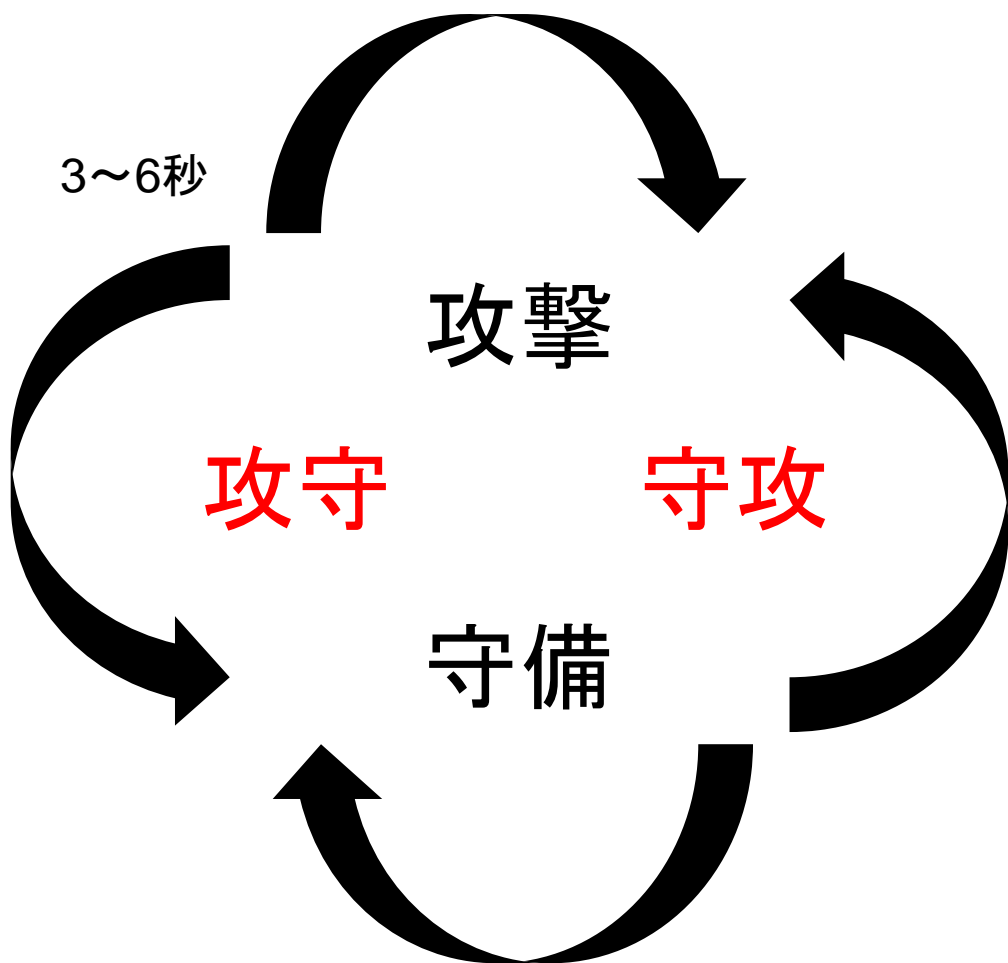
- ・攻守の状況が常に変化するスポーツ
- ・個人の状況判断が重要なスポーツ
- ・ボールのないときの時間が非常に長いスポーツ
- ・駆け引きのスポーツ
- ・ミスのスポーツ
- ・番狂わせが起こりやすいスポーツ
- ・個人をベースとした団体競技スポーツ
- ・技術・戦術・体力・メンタルのどれもが要求されるスポーツ
- ・ルールと責任のなかで自由にプレーできるスポーツ

「問題解決能力・創造力・独立心・責任感・決断力・
メンタルコントロール・ディシプリン(規律)・協調性など」

サッカーには大きく分けると4つの局面がある。

サッカーとは、この4つの局面が、約3～6秒毎にめまぐるしく変化し続けるスポーツである。

4つの局面で「サッカーの原理原則」を基に判断する基準・選択するプレーを変える。



- 攻撃
ボール保持 (ポゼッション)
- 攻守
ネガティブトランジション (ボールロスト)
- 守備
ボール非保持 (相手ボール保持)
- 守攻
ポジティブトランジション (ボール奪取)

ボール・ゲームをコントロールし、 最後まで諦めず勝利を目指す！ (サッカーの基本・原点)



全員攻撃・全員守備

全員が全てのポジションで攻撃・守備を積極的にできる。

素早い攻守の切替

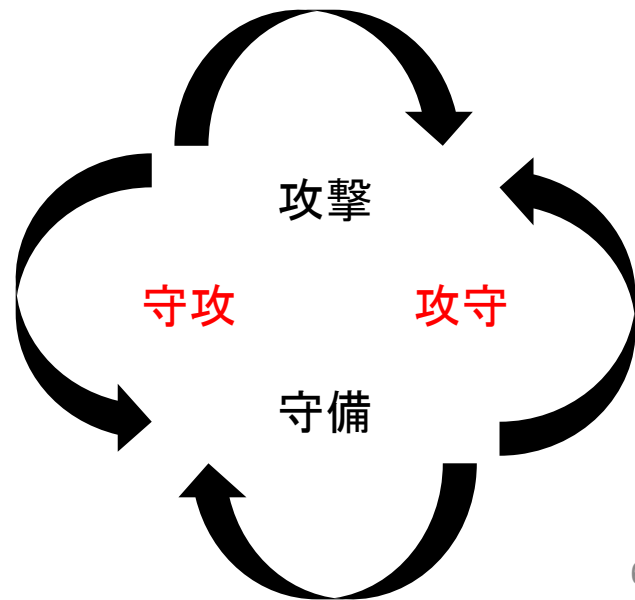
ボールを奪った瞬間に攻撃ができています。ボールを奪われた瞬間に守備ができています。その準備をし続ける。

前向きな声かけ

いかなる状況でも仲間を信頼し共に励まし合える。

創造性のあるプレー

個性を活かしたアイデア溢れる発想力を磨く。



②個人

伸びる選手

- ・明確な目標設定(夢)
- ・負けず嫌い
- ・練習に工夫がある
- ・コミュニケーション能力
- ・身体が丈夫(怪我・風邪)
- ・生活習慣



伸びる要素

- ・挫折を経験することの大切さ (リバウンドメンタリティー)
- ・負けて学ぶこと大切さ (ネクストメンタリティー)
- ・ハードトレーニング
- ・環境や他人のせいにしない(謙虚さ・ひたむきさ)
- ・明確な優先順位理解
- ・自己分析能力
 - 目標からの逆算
 - 自分の立ち位置を知る
 - 長所・短所の把握
- ・(M-T-M)
 - 実践 → 確認 → 実践のサイクル!



向上心や積極性を持ち、基本技術や戦術を学び続ける選手となる。 (自己判断・決断)

サッカーの技術

基本的な技術を身につけ、常にゴールを意識し続けられるプレーを身につける。

向上心

夢や目標を叶える為、現状に満足せず、ひたむきに努力し続ける。

積極性

何事も積極的にチャレンジし、失敗を恐れず立向かう
勇気を持つ。



③チーム

常にチームの事を考えて行動する選手となる。
選手同士、良き仲間・良きライバルで居続ける。
(心の成長)

規律

ルールを守り、常にチームの為に考え動く。
メリハリのついた行動を心掛ける。

共通理解

ピッチ内外で選手同士が良き仲間として行動し、
様々な共通理解を深める。
多くの仲間をつくり一生の宝物を得る。

チーム内競争

ピッチ内では、スタメンやメンバー選考など、
選手同士が常に競争を意識する。



④サッカー外活動

サッカー外活動を通じて社会とルールを学ぶ。
学び・体験する事で、成長に繋がるヒントやきっかけを得る。心の「ゆるみ」を未然に防ぐ。

- ・社会貢献活動(清掃作業 等)
- ・文化活動(演劇鑑賞 等)
- ・公式戦運営補助(運営を学ぶ)
- ・他カテゴリー交流活動
(演劇鑑賞 等)
- ・倶楽部活動(朔日参り 等)
- ・食育(遠征時)



感性を磨く（想像力 → 創造力）

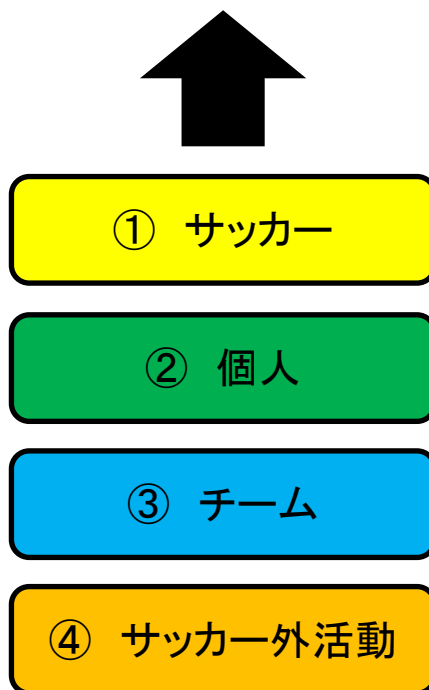
知覚的な能力の一つ。色々な刺激、色々な情報を受け取り、感じる能力。

《方法》

- ・知らない土地へ行く
- ・知らない文化に触れる
- ・様々な種類の雑誌や本を読む
- ・芸術作品を観る
- ・知らない価値観に触れる



選手の、選手による、選手の為の
サッカー(スタイル)の構築を目指す。



自分自身で判断(決断)し続け、
行動に移し続ける。



サッカーに答えはありません。
(ゴールを奪い・守る以外)

ゲーム(トレーニング)の中で探し続ける

プレー確認 ・ コミュニケーション

分析 → 実行 → 分析



全力で挑戦

全力で失敗

全力でやり直す



もがき続ける

どうにかしようと必死に努力すること。

喜ぶ、怒る、泣く 嬉しい、悲しい、悔しい etc...

サッカーが上手くなる

指導が上手くなる

指導者

多様な「目」、「思考」を持ち選手の今に気づき未来へつなげる

- ・望む姿勢（精神 テンション）
- ・トレーニング時間の有効活用
- ・プレー時間の確保（人数調整）
- ・負荷の大小
- ・伝える能力（端的に 要点を 声の大小）
- ・観せる能力（デモンストレーション 良いプレーの提示）
- ・気づく能力（声掛け）
- ・褒める能力（細かな点 テーマに沿って大胆に 具体的に）

■おこる

感情的に 自分のために 過去に焦点をあてて
怒りと勢い 自分の言いたいように

■しかる

理性的に 相手の為に 未来を見据えて 愛と勇気を持って
相手に伝わるように 試行錯誤しながら

指導者の充実・増加



今日の結果ではなく、明日子どもがどんなプレーをするか楽しみにしながら指導すること
イビチャ・オシム(元日本代表監督)

学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない
ロジェ・ルメール(元フランス代表監督)

保護者

早熟な子、大器晩成型の子がいる

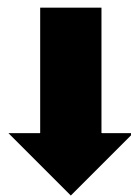
他者との比較ではありません

子どもは頑張っています

苦しめない選手はいません

挫折と限界の繰り返しで選手を大きくします

1人1人を観る。 選手(個性)を伸ばすために「どのように？」



「自分、自らが本気」 …… 大きく成長する。
「やらされている」(窮屈) …… 大きな成長は見込めない



サッカーを信じて、じっくりと見守ってあげてください。



YAMATOファミリー



(選手・指導者・保護者)

同じ目的(価値観)を共有できるチーム

「夢」に向かって協力し合えるチーム

温かみが溢れるチーム

思いやりを持ち、信頼し、尊重しあえるチーム

「喜怒哀楽」を表現できるチーム



選手・保護者・指導者 価値観の共有



・夢を実現できる人は一握り

・夢を追いかけるプロセスが大切

「新たな夢が見つかる」

「信頼される人間になり、人が集まる」

「充実した人生が歩める」

ベクトルを合わせ将来につなげる！



「3つの「わ」(輪・和・倭)」

「輪」... 世界へ発信し繋がっていく。

「和」... 思いやり、繋がり、清さと言った日本の精神が世界へと伝わっていく様、巡る様。

「倭」... 日の丸。日本の精神を持ったチームであること。また伊勢"倭"FCであること。

選手 指導者 保護者

三位一体となれるチーム(倶楽部)を目指しています。

学校

学校の重要性

- ・文武両道の大切さ（サッカーバカでは限界がある）
- ・学校活動、行事への積極的な参加が選手を成長させる
- ・コミュニケーションの大切さ（先生、友達、先輩・後輩、異性）
- ・先生との協力
常に子どもを観察し成長を促す先生との関わりが子どもを助けます。

子どもたちには無限の可能性がある！

生き方そのもの

自立

(自己実現力)

自分がやりたいことを自分で見つけ、自分でどんどんやっていく。
自分の人生を自分で展開(拓く)すること。

※言われた事を行う。自動化ではありません。

プレイヤーズファースト

「選手育成」を目的とする言葉であること。

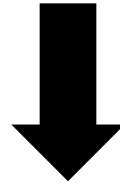
「育成」とは「今(勝利優先)」ではなく「選手の未来」のために選手を教え導くこと

選手(子ども)の未来を見据えて判断すべきこと

「選手(子ども)が望むから」「選手(子ども)が言うから」
「選手(子ども)に従わないと」等の責任転嫁ではない



9年間 一貫指導



中学2～3年生に向けての育成

この期間を集大成と位置付ける

県内①の組織(育成チーム)を目指す

- ジュニア・ジュニアユースの枠組みを取り除き、9年間の一貫指導を行う。
※小学生年代(幼児)～中学生まで

選手の為の指導 何ができて、どうあるべきか？

各年代に応じたテーマの設定
各年代に応じたM-T-Mの実施

育成年代の全体像



10歳 ➡ 12歳 ➡ 14歳 ➡ 16歳 ➡ 18歳 ➡ 20歳

ゴールデンエイジ
(スキル習得に最も有利な時期)

ポスト・ゴールデンエイジ
(クラムジー
→急激な身体の変化 心身ともに不安定)

身体の成長が終わり
再び安定を取り戻す
(新たなクライマックス)

個を光らせる
(パーフェクトスキルの
習得時期)

11対11の導入
ポジションの適性を考え出す

大人のサッカーの入口

トータルなことが求められる
(トップ選手への挑戦)



選手の光り輝く未来の為に！
次のステージへの「道しるべ」となる。

相談

何事も個人確定をせず、出来る限り相談をお願いします。

※注意

立ち話・世間話のような形は、会話次第で双方に誤解を招く恐れがあります。

要望や相談は、正式な相談として(メール等)、コーチではなく、監督までお願いいたします。